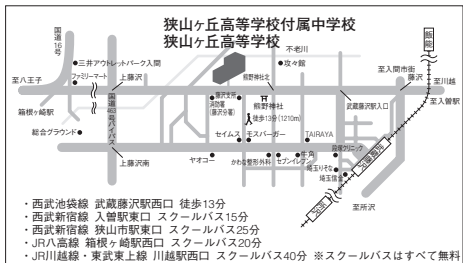


さ や ま が お か 狭山ヶ丘高等学校附属中学校 狭山ヶ丘高等学校

〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢981 ☎04-2962-3844 学校長 小川 義男



〈URL〉中 <https://www.sayamagaoka-h.ed.jp/juniorhighschool/>
高 <https://www.sayamagaoka-h.ed.jp/highschool/>

沿革 1950年飯能高等家政女学校を飯能町（現飯能市）に開校。1960年学校法人狭山ヶ丘高等学校として、現在地に移転開校。2013年付属中学校開校。

教育方針および教育の特色

狭山ヶ丘の特徴は「面倒見の良さ」です。生徒たちにとことん向き合い、面談期間を多く設定し、生徒たちの変化をとらえて成長を促しています。生徒たちは穏やかで素直です。人間関係に悩みを抱えることなく様々なことに打ち込める校風です。

また、塾等に通う必要のない教育体制で、「自学自習」を身につけるようサポートしています。例えば、以下のような補習等を開講しています。

- ①**入学前英語特別ゼミ** 高校入学前に5日間実施。小川校長による講義もあり、英語だけではなく「自学自習」の姿勢を身に付けます。
- ②**朝ゼミ・放課後ゼミ** 朝ゼミは7:20～8:10の講座。早朝の学習は効果の高いものです。放課後ゼミも開講され、受験勉強に邁進していきます。
- ③**英検・TEAP対策講座** 中学は英検対策として4～2級の一次試験前と3級以上の二次試験前に講座を行っています。高校2・3年生はTEAPのスピーキング・ライティング対策を実施します。
- ④**夏期講習** 中高とも1・2年生では主要3教科、3年生では5教科の夏期講習を開講。多くの生徒が積極的に参加し、学力を伸ばしていきます。

生活指導・心の教育

心の教育「内観」を重視しており、以下のよう
今春の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください



な3つの「自己観察教育」を柱としています。

- ①**自省を育む黙想教育** 授業の始めに黙想をして集中力を高め、自分を律する強さを身につけます。
- ②**心身の動と静を育む茶道教育** 高校3年生が週1回授業を受け、伝統文化に触れて「和敬清寂」の精神を体得し豊かな人間性と国際性を培います。
- ③**コミュニケーションと対話教育** クラスや部活動で同じ目標に向かう者同士が切磋琢磨し合える言葉かけを大切にしています。爽やかな挨拶が、身近で高度なコミュニケーション能力を育みます。

付属中学校の教育の特色

「生徒をやる気にさせる」教育で中学段階から「自ら学ぶ」生徒を育てます。そのために3年間かけて思考力を培います。1年次には「自己」を知るために、マインドマップの製作やブレインストーミングをします。2年次には思考を他者や社会へと広げ、「自己」を相対化します。最終学年では、自身の興味あるテーマで研究論文を執筆します。自己を相対化する過程で、学ぶ意義を認識し、自ら学ぶ意欲を持つようになっていきます。

高校の4つのコース

- ①**I類**（難関国立進学コース） 東京大学等の最難関国立大学への現役合格を可能にするカリキュラムを設定し、少数精鋭で学ぶコースです。
- ②**II類**（特別進学コース） 難関国立大学や早慶上理等の難関私立大学への現役合格を可能にするカリキュラムを設定したコースです。
- ③**III類**（総合進学コース） 多彩な活動を展開しやすく着実に学習するカリキュラムを設定し、上位の大学への現役合格を実現するコースです。
- ④**IV類**（スポーツ・文化進学コース） 当該スポー

ツ・文化活動を3年間継続して行う強化クラブ所属の生徒で構成され、私立文系大学への現役合格を実現するコースです（事前相談が必要）。

I～Ⅲ類では入学後、年度ごとに再編成を行い、I・II類の次年度継続、数字の小さくなる類への変更は、所定の学力要件を満たす必要があります。

環境・施設設備

新2号館（7階建て）が2015年3月完成。300人収容の生徒ホールや売店、理科室が3室、図書室、自習室、美術室、技術室、音楽室があり、いずれも空調設備や耐震性能も万全です。新体育館は2014年3月に、3号館（茶室「悠久庵」や130席のキャレルを備えた図書室等）は2010年完成。さらに400人収容の講堂のある1号館も2000年完成と全施設が新しく、県内随一の学習環境を整えています。野球場、サッカー場、多目的グラウンド、弓道場、テニスコートを備えた総合グラウンドも2014年3月に大きく拡充し、2020年6月にはトレーニングルームを備えた新施設が完成。2022年

データファイル

2024年度入試日程

中学校 ※1/9より試験当日まで窓口受付あり					
募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日	
1回 40	12/4～1/8※	1/10	1/11	2/5	
2回 25		1/12	1/13	2/5	
3回 15		1/16	1/16	2/5	
4回 若干	12/4～1/31※	2/6	2/6	2/13	

高等学校 *併願の延納希望者は手続きが必要

募集人員※	出願期間	試験日	発表日	手続締切日	
推薦	12/4～1/12	単・併①	1/22	1/23	
I類 80		単・併②	1/23	1/24	
II類 120		単・併③	1/24	1/25	
一般	III類 120	12/4～1/31	単・併	2/5 2/6	単2/17併3/2*

※IV類(80人募集、単願推薦のみ)は事前相談等必要
※募集人員には内部進学者80人含む

2024年度選考方法・入試科目

- 中学校** 4科または2科または1科（算数）
〈配点・時間〉国・算＝各100点50分 理・社＝各60点30分 〈面接〉なし
- 高等学校** 推薦：書類審査、国語、数学、英語（リスニング含む）、面接
一般：国語、数学、英語（リスニング含む）、面接
〈配点・時間〉国・数＝各100点50分 英＝100点65分 〈面接〉単願は個人面接、併願はグループ面接

には野球グラウンドを大幅リニューアルしナイター設備も完備。

グローバル教育

高校の修学旅行はイギリス・フランス・ニュージーランド・ハワイ等で実施してきましたが、現在は九州や沖縄で実施しています。グローバル教育の一環として、再びヨーロッパに戻す予定です。

学校行事・クラブ活動

体育祭（6月）や狭丘祭（9月）、高校2年の修学旅行など、充実した行事が多数あります。その他にも、登山や博物館見学、バーベキュー等をする校外学習、演劇やバレエ等の本物に触れる芸術鑑賞会があります。中学独自の行事として軽登山や理科実習・宿泊研修・校外学習・スピーチコンテスト・合唱コンクールを実施しています。

運動系18・文化系21の部活動や同好会があり、8割以上の生徒が参加しています。勉強だけでなく様々な活動に参加するのが狭山ヶ丘の特徴です。

2023年春大学合格実績（浪人含む）

【国立44 早慶上理29 GMARCH102等、難関大学に合格者多数】東京大2 北海道大1 東北大2 大阪大1 千葉大1 埼玉大7 東京外国語大1 防衛医科大1 早稲田大8 慶應義塾大4 上智大1 東京理科大16 明治大22 青山学院大16 立教大11 中央大16 法政大33など

2023年度入試結果

中学校 男/女					
募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率	
1回 40	39/63	39/60	31/48	1.3/1.3	
2回 25	43/51	30/30	23/20	1.3/1.5	
3回 15	31/38	18/15	16/8	1.1/1.9	
4回若干	21/19	5/4	4/3	1.3/1.3	

高等学校 単願/併願 スライド合格を含む

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
推薦	400	143/655	139/616	135/613
一般		4/26	1/20	1/20

学校見学説明会 予約可・当日参加可
★中学校 9/10 10/21 11/4 12/2
★高等学校 9/23 10/29 11/19
個別相談会(高校のみ) 10/14 12/16 12/26
見学できる行事 文化祭 9/9・9/10